

## 第 33 回社会保障審議会小児慢性特定疾患児への支援の在り方に関する専門委員会 議事要旨

○日時 平成 30 年 12 月 19 日（水） 10:30～ 12:00

○場所 TKP 虎ノ門駅前カンファレンスセンターホール 2A

○出席者

専門委員会委員

五十嵐委員長、安達委員、石川委員、及川委員、岡委員、小国委員、  
尾花委員、賀藤委員、坂上委員、高橋委員、春名委員、福島委員、矢内委員

参考人

大竹参考人

事務局

川野難病対策課長、田中課長補佐、谷口課長補佐

○議題

- (1) 小児慢性特定疾病（平成 31 年度実施分）の検討について  
（疾病ごとの個別議論）
- (2) その他

○議事

- ・ 議題（1）について、研究班や関係学会から情報提供のあった 7 疾病について、個々の疾病ごとに、小児慢性特定疾病の各要件を満たすかどうか検討を行った（※）。

※小児慢性特定疾病の要件は、次の①から④までの 4 つである。

- ① 慢性に経過する疾病であること
- ② 生命を長期にわたって脅かす疾病であること
- ③ 症状や治療が長期にわたって生活の質を低下させる疾病であること
- ④ 長期にわたって高額な医療費の負担が続く疾病であること

- ・ その結果、検討を行った 7 疾病全て（資料 1 の 7 疾病）について、本委員会として小児慢性特定疾病の要件を満たすと判断することが妥当と考えられるものとされた。